

強行採決された翌朝は？「特定秘密保護法案」衆議院採決・参議院採決後の新聞社説等の比較一覧（2013年）

2013年12月8日

内野光子作成

新聞名	毎日新聞	朝日新聞	NHK	日本弁護士連合会
日付	12月7日	12月7日	12月7日	12月6日
見出し	特定秘密保護法成立 民主主義を後退させぬ	特定秘密保護法 憲法を骨抜きにする愚挙	(おはよう日本) 特定秘密保護法はどう決ったのか	特定秘密保護法の採決強行に 抗議する会長声明
論調	情報公開は民主主義の通過である (ラルフ・ネーダー) 息苦しい監視社会に 民意を問うべきだ	政治の仕組みと憲法とのかかわり で～行政機関の長が指定し、国民・ 国会・裁判所にとってのブラックボ ックスを設定 外される歯止め 権力集中の危うさ 国会と国民の決意を	秘密保護法成立 与野党の反応は 「情報保全観察室の」独立性が焦点 解説・今後の国会は（アナと安達解 説委員の質疑）	・採決の強行は、内容面・手続 面ともに国民主権・民主主義の 理念を否定、容認できない ・国民の知る権利や報道の自由 の侵害、重罰化、適性評価によ るプライバシー侵害のおそれ などの問題点克服のための活 動を続ける
第1面 ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・秘密保護法成立 与党が強行採決 野党「国会無視」と批判 ・ひるまず役割果たす（主筆伊藤芳明） ・特定秘密保護法の重大な欠陥（表） ・止まらぬ巨大与党 公明「数任せ」追随／野党かみ合わず／秘密保護法の経過 ・監視社会招く恐れ／「適性」照会に回答義務／現行の特管秘42万件 ・反対言い続ける 知る権利不安残し ・民主主義危うく 政権強気世論一蹴・ゆらぐ市民権の保障（保坂正康） 	<ul style="list-style-type: none"> ・秘密保護法が成立 知る権利損なう恐れ 参院本会議賛成、自公のみ ・戦中の闇 沖縄戦スパイ扱い(知念忠二)／国民同士監視ほんとうに怖いんだ（むのたけし） ・反対あきらめぬ／秘密だらけの法残したくない／止まない怒り列島を包む ・秘密保護法案条文解説ここが問題／疑われたジャーナリスト／逮捕の不安 ・欠陥法案数で突破／野党、一丸になれず／第三者機関土壇場の乱造／乱立する「新組織」（表） ・異議あり特定秘密保護法案（杉田敦） ・担当う記者はこう見た／議事録さ 		

		え作れぬ政治／怒号飛び交う欠陥 審議		
日付	11月27日	11月27日	11月27日	11月26日
見出し	民主主義の土台を壊すな	民意おそれぬ力の採決	(おはよう日本ここに注目!) 終盤 国会—特定秘密保護法案の行方は (アナと安達宜正解説委員の質疑)	特定秘密保護法案の衆議院で の採決強行に対する会長声明
論調	<ul style="list-style-type: none"> ・秘密の範囲が曖昧、国会や司法のチェック及ばず、情報公開ルール未定 ・国民の国政についての情報が制限され、処罰の対象にも ・参院で徹底議論を 	<ul style="list-style-type: none"> ・官僚に温存される情報の闇 ・ツワネ原則を無視した国家ありきの思想 ・世界の潮流に逆行、決して成立させてはならない法案 	<ul style="list-style-type: none"> ・強行採決の経緯 ・参議院での審議の焦点 修正案では首相の指揮監督権を明記、知る権利は担保されるか／不測の第三者機関が不明確／秘密保護の期間／国政調査権との関係など <ul style="list-style-type: none"> ・良識の府参議院の慎重審議を 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の知る権利を侵害する危険性から廃案にすべきは国民各層から表明されている ・ツワネ原則も検討されず ・国民主権の原則に反する ・強行採決への抗議と参院の慎重審議を要請
第一面 ほか	与党が採決強行／秘密保護法案衆院通過／「知る権利」懸念残し／首相、正当化を強調 クローズアップ 2013: 肥大化する情報統制、NSC との一体化を念頭に／動 2013: 維新の退席を気にする石破氏／法案要旨／フクシマを馬鹿にするな、与党議員も戸惑い	<ul style="list-style-type: none"> ・秘密保護法案衆院通過／自公が採決強行 ・参院の力が試される(政治部長・曾根豪) ・採決なぜ急いだ ・知る権利どうなる、増す疑念 ・衆院特別委の主なやりとり ・修正法案全文 ・参議院に注文 ・抗議の声 各地から 	11月26日(ニュース7) <ul style="list-style-type: none"> ・特定秘密保護法案 委員会可決 	
その他の 関連 記事・特 集	(随時連載) 特定秘密保護法案に「言いたい」 ◇11月5日～25日断続的に14回の社説が続く 11月5日: 秘密保護法案を問う国民の知る権利 6日: 国の情報公開 7日: 国政調査権	(連載) 「異議あり」特定秘密保護法案 秘密保護法案国会論戦 ◇社説断続的に続く 11月6日: 秘密保護法案 社会を萎縮させる気か 8日: 市民の自由をむしば 12日: 極秘が支えた安全神話	(おはよう日本) 10月28日(安達宜正解説委員) ・ここに注目! 特定秘密保護法案、国会審議へ 11月18日(安達宜正解説委員) ・ここに注目! 特定秘密保護法案、修正協議本格化 11月27日(安達宜正解説委員)	

<p>8日：審議入り 重ねて廃案を求める</p> <p>10日：テロ・スパイ捜査</p> <p>12日：歴史研究</p> <p>13日：強まる反対世論</p> <p>14日：野党 成立阻止が目指す道だ</p> <p>15日：報道の自由</p> <p>18日：刑事裁判／19日修正協議</p> <p>20日：与党・みんな合意</p> <p>22日：まるで擦り寄り競争だ</p> <p>25日：ツワネ原則</p> <p>26日：法案、不十分な審議、採決は許されぬ</p> <p>29日：参院審議を問うテロの定義</p> <p>12月2日：参院審議を問う 適性評価 民間人監視される懸念</p> <p>3日：参院審議を問う 石破発言なぜ問題か 民主主義への理解欠く</p> <p>・参院審議を問う 適性評価 民間人監視される懸念</p> <p>4日：参院審議を問う 前知事の懸念 危機情報を共有できぬ</p> <p>5日：参院審議を問う 第三者のチェック 唐突で泥縄的な新提案</p> <p>・参院審議を問う 急ぐ自公 これで採決は許されず</p> <p>6日：参院審議を問う 強行可決 議会政治を壊す暴挙だ</p>	<p>16日：身近な情報にも影／成立ありきの粗雑審議</p> <p>20日：外交の闇を広げる恐れ／この修正はまやかしだ</p> <p>21日：</p> <p>23日：これで採決などできぬ</p> <p>22日：「翼賛野党」の情けなさ</p> <p>24日：自己規制の歴史に学ぶ</p> <p>26日：福島の声は「誤解」か</p> <p>28日：秘密保護法案 欠陥法案は返品を</p> <p>12月2日：秘密保護法案 裁きを免れる「秘密」</p> <p>3日：秘密保護法案 石破発言で本質あらわ</p> <p>4日：秘密保護法案 国会が崩す三権分立</p> <p>5日：秘密保護法案 採決強行は許されない</p> <p>6日：特定秘密保護法案 民主主義に禍根を残すな</p> <p>~~~~~</p> <p>12月8日 (社説)秘密保護国会 異様な光景の果てに</p> <p>・秘密保護法 国会論議 76%不十分 (本社世論調査)</p> <p>・知る権利支える報道続けます (東京本社編成局長杉浦信之)</p> <p>・秘密法欠陥変わらず 知る権利・秘密の範囲・指定期間・適性評価</p>	<p>・ここに注目！終盤国会特定秘密保護法案の行方</p> <p>12月4日 (島田敏男解説委員)</p> <p>・ここに注目！秘密保護と情報公開のバランスは？</p> <p>(時論公論)</p> <p>11月20日 (安達宜正解説委員)</p> <p>・特定秘密保護法案、修正合意、衆議院通過へ</p> <p>12月6日 (安達宜正解説委員)</p> <p>・特定秘密保護法案～国会審議を問う</p> <p>(視点論点)</p> <p>11月28日 (東大教授長谷部恭男)</p> <p>11月29日 (弁護士清水勉)</p> <p>(ニュース7)</p> <p>12月2日：秘密保護 石破氏ブログを巡って／参院審議は／国会周辺で抗議活動</p> <p>12月3日：秘密保護法案 与野党の攻防は</p> <p>12月4日：秘密保護法案 党首討論</p> <p>12月5日：秘密保護法案 参院特別委可決／各党の反応は／恣意的な秘密指定どう防ぐ／参院可決与野党の狙い</p> <p>12月6日：秘密保護法案 与野党の攻防激化／内容とか課題</p> <p>12月7日：なし</p>	
---	---	---	--

<p>参院審議を問う 反対の声を無視 民主主義と人権の危機 ~~~~~</p> <p>12月8日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(社説) 劣化した国会 禍根を残した数への過信 ・特定秘密保護法 情報統制懸念 与党も ・米要請首相戦略と合致 ・強いる権利守る備えを 識者に聞く (漆畑源、岡田憲治) ・怒りは宗派超え ・(特定秘密保護法に言いたい) 国民は声を上げ続けて (室井佑月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・民主迷走 野党バラバラ ・担当記者はこう見た ・特定秘密保護法全文 ・秘密保護法全参院議員の賛否 ・ヒミツ保護法 捨てるあれは「ない書類」だ 海自幹部、直訴黙殺 ・(どうする秘密保護法) 情報隠しデマ発生に加担 (富田勲) 	<p>~~~~~</p> <p>12月8日: (ニュース7) なし (おはよう日本) 特定秘密 監視委設置目指す</p>	
---	---	---	--

No2

新聞名	日本経済新聞	東京新聞	読売新聞
日付	12月7日	12月7日	12月7日
見出し	「知る権利」揺るがす 秘密保護法成立を憂う	民主主義を取り戻せ 秘密保護法案成立	秘密保護法国家安保戦略の深化に つなげよ
論調	<ul style="list-style-type: none"> ・法律の内容、国会運営の手法を憂う ・指定の恣意性、第三者機関設置の不備 ・法改正を含む徹底的な見直しを求める ・知る権利を保障するために情報公開法、文書管理法の改正が必須 	<ul style="list-style-type: none"> ・国権の最高機関で民意が踏みにじられる異常さ。取り戻すべきは民主主義である ・有権者への公約では多くの内容的・手続的な瑕疵に触れていない ・選挙が済んだら国民を「奴隷」視するのか ・改憲に到る第一歩、民の力で踏みとどまりたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・疑念招かぬよう適切な運用を ・統一的なルールを明確に ・知る権利とのバランスを ・「原則公開」も問われる
第1面 他	(未見)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定秘密保護法が成立 国のかたちを変えてはいけない ・権力監視ひるまず (論説主幹山田哲夫) ・知る権利侵害の怖れ あきらめず 反対日比谷に1万5000人 ・「再考の府」役割放棄 審議は衆院の半分 ・証明された欠陥法案/森担当相答弁ぶれ/民主抵抗戦術限界 ・人権より国の秘密 不都合な話予測/原発テロ防止を盾に/内部告発も厳罰対象、外交文書も永久に ・「ここからスタート」「時計の針もどさぬ」/法案成立なぜ急ぐ (原彬久) 	(未見)

		・「反対」声上げ続ける 秘密保護法案国会に訴え（市民5人の声）	
日付	11月27日	11月27日	11月27日
見出し	秘密保護法案の採決強行は許されない	特定秘密保護法案 国民軽視の強行突破だ	秘密保護法案 指定対象絞り「原則公開」確実に一参院での文書管理の論議を深めよ
論調	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の知る権利を損なう危険性あるにもかかわらず審議不十分 ・指定の範囲の曖昧さ ・第三者機関も不明 ・本社世論調査で反対 50%賛成 26%、福島公聴会では全員反対意見 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島の公聴会意見は全員反対 ・数の力でののごりだ ・議員こそ反対の先頭に ・参院で議論の上、廃案に ・行政権のみ強くなる法案は反対 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本版NSCと両輪だ ・恣意的判断の排除を ・知る権利をどう担保—安全保障のための機密保全とのバランスどうとるか
第一面ほか	(未見)	<ul style="list-style-type: none"> ・秘密 政権意のままに 秘密保護法案採決強行 衆院通過修正案根幹変わらず ・海外派兵の分水嶺（社会部長瀬口晴義）・・・ ・「決められる政治」暴走国民の懸念置き去り ・成立ありき 拙速採決 ・こちら特報部 衆院は死んだのか「政治家は信念を持って」（保坂正康） 戦前の過ち踏むな「参院で議論尽くせ」（坂野潤治） ・国会 誰のためか原発集会で怒り「横暴」「恥を知れ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・秘密保護法案衆院通過 ・自公み賛成 維新は退席 ・与党の譲歩限界・会期内成立目指す ・スキャナー・同盟国と機密共有／指定対象の曖昧さ残る ・野党共闘 不発に 民・維・み採決そろわず ・識者「参院で一層審議を」
その他の関連記事・特	(社説) 11月16日：疑問消えぬ秘密保護法案に賛成できない	(連載) ・国家のヒミツ<秘無制限>・私の疑問	(社説) 11月8日：秘密保護法案 後世の検証が可能な仕組みを

<p>集</p>	<p>11月22日：秘密保護法の修正は評価しない 12月5日：秘密保護の新提案、議論を尽くせ ~~~~~ (12月8日 未見)</p>	<p>(社説) 11月8日：議員の良識で廃案へ 11月18日：1 秘密保護法案・自由に壁が築かれる 11月19日：2 情報を国民のものに 11月20日：3 崖っぷちの知る権利 11月21日：4 捜査が暴走し始める 11月22日：5 新しい権力が誕生する 11月27日：秘密保護法案 国民軽視の強行突破だ 12月2日：秘密保護法案 思想への介入を許すな 12月3日：「テロ」と石破氏、デモの重みを感じぬ鈍さ 12月5日：党首討論、聞く耳持たずか 12月6日：秘密保護法案 知らされぬ国民の悲劇 ~~~~~ 12月8日 ・社説・官僚に“鎖”をつ付けよ ・法廃止へ揺るがず監視国家広がる「反対」 ・12・6を忘れない(政治部長金井辰樹) ・強引、独断の3か月 拙速 密室 世論を無視 ・秘密法疑問のまま いつ施行？口約束の監視機関本当にできるの？NSCとのズレ、大丈夫？志向</p>	<p>11月17日：秘密保護法案 将来の「原則公開」を軸に修正を 11月23日：修正案は評価する 11月27日：秘密保護法案—指定対象絞り、「原則公開」確実に 12月5日：秘密保護法案「監視委」の実効性が問われる ~~~~~ 12月8日 ・(スキャナー) 秘密 9割は衛星画像 保護穂成立 ・秘密法 与野党に傷 政府自民支持率低下／民主維新党内対立深まる／みんな分裂決定的 ・特定秘密保護法正立 識者に聞く (立命館大学客員教授宮家邦彦・弁護士山川洋一郎) ・「知る権利」配慮・第三者機関でチェック／保護法要旨 ・秘密保護法 公正中立な審査を」識者ら「情報保護は当然」 ・「知る権利」に込め続ける(社会部長藤田和之)</p>
----------	--	---	--

		<ul style="list-style-type: none">・秘密保護法全文・(千葉中央版) 国家の秘無制限ヒミツ・秘密法成立今後も戦う・(こちら特報部) 私たちはあきらめない／政権の暴走に歯止め・(ニュースの追跡)「大阪地検の懲戒請求」と秘密保護法・警鐘やまず やなせたかし・田中正造・宗教者・(伝言) 開戦の朝染みた恐怖 秘密保護法また統制か	
--	--	--	--